

整備指針策定にあたっての 調査・検討状況について 中間報告

1. 公園利用者全体への調査・検討状況

- 第2回実証実験

来場者数	平日:約146人/日[調査日8/26(金)]
	土日:約436人/日[調査日8/28(日)]

概要：会場の利用状況を目視で調査

- 第2回実証実験 会場でのアンケート調査
(回答数：31人 [8.22時点])

概要：会場に二次元コードを設置し、
WEBアンケートへの協力を呼びかけ

- 内容：○子どもの属性
(年齢、障がいの有無、障がいの種別)
- 一般的な公園で苦勞する点
 - 会場にある遊具や設備への意見
 - インクルーシブな遊具広場に
必要だと思う要素への意見
 - 自由意見



1. 公園利用者全体への調査・検討状況

■ 第2回実証実験 会場の利用状況目視確認

- サポート付きブランコは1～2歳の子が利用されていた
- 回転遊具は小さい子と大きい子や親子など様々な利用者が同時に遊んでおり、会話も生まれていた
- ドーム遊具の中に複数の子どもが隠れながら会話していた
- 木陰を中心に休憩する姿が多くみられた
- 土いじりを楽しむ子どもがいた
- 虫取りを楽しむ子どもがいた
- 人工芝は一般の利用者からは好評であったが、屋外用の車椅子の場合、走行性が低下していた。
- 保護者のベビーカー利用が非常に多く、ベンチ横に数多くのベビーカーが置かれていた。

1. 公園利用者全体への調査・検討状況

■ 第2回実証実験 会場の利用状況目視確認

- サポート付きブランコは1～2歳の子が利用
- 回転遊具は小さい子と大きい子や親子など
おり、
遊んで
- ドーム
子どもが隠れながら会話していた
- 木陰を中心に休憩する姿が多くみられ
- 土いじりを楽しむ子どもがいた
- 虫取
遊具広場の舗装
- 人工
自然的な空間の必要性
(五感で感じる遊び) 好評であったが、屋外用の車椅子の場合、
走行
- 保護者のベビーカー利用が非常に多く
が置かれていた。ベビーカー
保護者に配慮
した施設

1. 公園利用者全体への調査・検討状況

■ 第2回実証実験 会場でのアンケート調査

- 未就学児の利用が多いが、12歳以下のお子さんが幅広く利用
- 障がいのあるお子様の利用は少ない（現在回答者4人）
- 回転遊具やジャンプ遊具といった比較的珍しい遊具が人気
- 日陰への要望が多い
- 子どもの転倒や落下の際の安全性から人工芝への評価が高い
- テーブルやベンチはみんなで座れるものへの希望有り
- 大きい子どもと小さいこどもと一緒に遊べる遊具が欲しいとの声あり
- 柵があることで見守りがしやすいとの声があり
- トイレにおいておむつ替えの場所
- インクルーシブな遊び場に必要な遊びとして砂場・水遊び・音を楽しむ・揺れて楽しむ遊具などの回答
- インクルーシブな遊び場に必要要素として日よけや屋内空間が最も多いが、築山などの高低差、水場、草木樹木などの地形や自然を感じて自由に遊ぶ要素を求める意見も多い

1. 公園利用者全体への調査・検討状況

■ 第2回実証実験 会場でのアンケート調査

- 未就学児の利用が多いが、12歳以下のお子さんが幅広く利用
- 障がいのあるお子様の利用は少ない（現在回答者4人）
- 回転遊具やジャンプ遊具といった比較的珍しい遊具の希望あり
- 日陰の重要性
- 遊具広場の舗装
- 子どもから人工芝の安全性から人工芝の希望あり
- ベンチやテーブルなど座れるものへの希望あり
- 大きい子どもと小さい子どもと一緒に遊べる
- 利用者間の交流
- 柵が保護者に配慮した施設
- トイレが清潔な場所
- インクルーシブな遊び場に必要遊びとして砂場・水遊び・音を楽しむ・揺れて楽しむ遊具などの回答
- インクルーシブな遊び場に必要要素として自然的な空間の必要性（五感で感じる遊び）多いが、遊ぶ要素を求める意見も多い

2. 障がい当事者への調査・検討状況

■ 障がいのあるお子様の保護者を対象としたアンケート調査 (回答数：164人)

概要：上角委員より、障がいのあるお子様の保護者にお声かけいただき、WEBアンケートを実施。

- 内容：
- 保護者の属性(年齢、誰と公園に行くか)
 - 子どもの属性(年齢、障がいの有無、障がいの種別)
 - 子どもの好きな遊び
 - 公園に行く頻度(身近な公園と大規模公園ごとに)
 - よく利用する公園(身近な公園と大規模公園ごとに)
 - 公園で良く行う遊び(身近な公園と大規模公園ごとに)
 - 公園での他者との交流(身近な公園と大規模公園ごとに)
 - どのような施設があれば公園に行きたいか
 - インクルーシブな遊具広場にあってほしい要素
(施設、遊具、自由記述)

2. 障がい当事者への調査・検討状況

■ 障がいのあるお子様の保護者を対象としたアンケート調査

- 視覚障がいなので、音や触覚、嗅覚に働きかけるものが欲しい
- 自然に触れる中で様々な体験をすることが楽しい
- 平らで段差がないように。ゴムの舗装が安心。
- 年齢で遊具を分ける、芝生と遊具を分けるなどしたほうがよい
- 定型発達の子と遊ぶとき、遊び方やスピードが異なることで危険になる
- 遊具周りのスペースにゆとりがほしい
- 普通の遊具も補助付きの遊具も両方あるような環境がよい
- 単に障がい者だけが使いやすい遊具広場は、インクルーシブとは言えない
- 色んな子が空間を共有するだけでもよい
- トイレにおむつ交換場や子供専用の施設が欲しい
- 保護者が補助しやすいような構造の遊具にしてほしい
- バギーやベビーカーを置く場所が必要
- 日よけベンチや木陰があるとよい
- 飛び出し防止の外周囲いが欲しい
- 子ども、親同士が自然と交流できるようなスペース
- 無理して他の人と交流しなくてよい。パーソナルスペースを保てるような場
- インクルーシブについての案内や情報発信が欲しい
- 急病に対応できるようなスペースや専門員がいると安心

2. 障がい当事者への調査・検討状況

■ 障がいのあるお子様の保護者を対象としたアンケート調査

- 視覚障がいなので、音や触覚、嗅覚に働きかけるものが欲しい
- 自然 **自然的な空間の必要性** をすることが楽しい
- 平ら **(五感で感じる遊び)** ムの舗装が安心。
- 年齢 **遊具を分** **遊具広場の舗装** がよい
- 定型発達の子と遊ばせ、遊び方やスピードが異なることで危険になる
- 遊具 **様々なペースの子が** がほしい
- 普通 **同時に使えるように** も両方あるような環境がよい
- 単に障がい者だけが使いやすい遊具広場は、インクルーシブとは言えない
- 色んな子が空間を共有するだけでもよい
- トイレやおむつ交換場や子供専用の施設が欲しい
- 保護 **保護者に配慮した施設** 構造の遊具にしてほしい
- バギーやベビーカーを置く場所 **日陰の重要性**
- 日よけベンチや木陰があるとよい
- 飛び出し防止の外周囲いが欲しい
- 子ども、親同士が自然と交流できる **利用者間の交流**
- 無 **パーソナルスペースの必要性** パーソナルスペースを保てるような場
- インクルーシブについての案内や情報 **利用案内や情報発信**
- 急病 **急病発生時の対応** スや専門員がいると安心

3. 今後の取り組み予定

② 公園利用者などへの調査

	調査内容	具体的な予定
②-1	公園利用者へ幅広く調査	○実証実験会場でのアンケート(継続) ○市政だよりでのwebアンケート
②-2	障がい当事者の声を調査	○健常児と障がい児の交流イベント ○障がい児を対象としたワークショップ
②-3	公園に来ない来られない障がい当事者の声を調査	○市政だよりでのwebアンケート ○特別支援学校等への紙アンケート

③ 公園管理者等との意見交換

	調査内容	具体的な予定
③-1	行政職員や指定管理者等と意見交換を実施	○実証実験会場での意見交換会